

平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月5日

上場会社名 日東化工株式会社
 コード番号 5104 URL <http://www.nitto-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鍵崎 正己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 森 茂
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月12日

上場取引所 東

TEL 0467-74-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	10,038	—	△85	—	△113	—	△349	—
20年3月期第3四半期	11,220	△8.8	190	△39.6	165	△44.6	84	△47.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△9.09	—
20年3月期第3四半期	2.20	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第3四半期	8,693	69.25	2,658	30.6				
20年3月期	8,891	80.44	3,087	34.7				

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 2,659百万円 20年3月期 3,085百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	△13.0	△270	—	△360	—	△650	—	△16.92

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 38,400,000株 20年3月期 38,400,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 14,054株 20年3月期 13,050株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 38,386,587株 20年3月期第3四半期 38,387,635株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の事項

1. 上記に記載した予想数値には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等に関わる不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

なお上記の予想数値に関する事項は2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における日本経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的金融不安により世界経済の同時減速が顕在化し、輸出の鈍化、さらに円高による影響で企業収益は悪化し、景気の減速感を一層強める状況となりました。

このような経済情勢の中で、ゴム・樹脂業界におきましても自動車産業の想定を上回る減産および原材料価格の上昇が続き、当社は収支面では厳しさが増した展開となりました。

このような状況の下、当第3四半期（9か月）の当社は積極的な営業活動により、販売量の維持・拡大、原材料価格高騰に対処すべく売値転嫁を推進してきたものの、自動車産業の減産が大きく、ゴムコンパウンド製品および塩ビコンパウンド製品等の減販により、対前年同期比大幅な減収、減益となりました。

この結果、当第3四半期（9か月）の業績は、売上高は10,038百万円（前年同期比10.5%減）、営業損失は△85百万円（前年同期は190百万円の営業利益）、経常損失は△113百万円（前年同期は165百万円の経常利益）、四半期純損失は△349百万円（前年同期は84百万円の四半期純利益）となりました。

なお、前年同期の増減率及び金額は参考として記載しております。

（ゴム事業部門）

ゴム加工品は前年同期比並みとなったものの、ゴムコンパウンド製品が、自動車産業の減産等の需要減等により大幅減販となったため、ゴム事業部門全体の売上高は5,503百万円と、前年同期に比べて18.4%の減収となりました。

（樹脂事業部門）

塩ビコンパウンド製品及びリサイクルナイロン等の樹脂製品は、前年同期比減となりましたが、高機能樹脂コンパウンド製品の増販となったため、樹脂事業部門全体の売上高は4,534百万円と、前年同期に比べて、1.4%の増収となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は8,693百万円となり、前会計年度末に比べ198百万円減少しました。

負債は6,035百万円と、前会計年度末に比べ230百万円増加しましたが、主な要因は、当第3四半期末日が休日影響等により買掛金及び借入金の増に伴う増加です。

純資産は2,658百万円と、前会計年度末に比べ429百万円減少しましたが、主な要因は、繰延税金資産の見直し、配当金の支払及び利益減によるものです。

当第3四半期（9か月）の営業活動によるキャッシュフローは、158百万円の収入となり、前年同期に比べ282百万円の減少となりました。主な要因は、運転資金の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュフローは、227百万円の支出となり前年同期に比べ41百万円の増加となりました。主な要因は、設備投資の支払時期のずれによるものです。

財務活動によるキャッシュフローは、193百万円の収入となりました。主な要因は、配当金を支払ったものの、土地購入等で270百万円を借入したことによるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

全社の通期見通しは、売上高につきましては、自動車産業の減産等により、ゴムコンパウンド製品及び樹脂製品等の大幅減販を主要因として、前期に比べ13.0%の減収と予想しております。利益につきましては、大幅減販による減益に加え、原材料価格アップ影響のマイナスも見込まれますため、経常利益、当期純利益とも大幅減益が見込まれ、前期に対し大幅減益を予想しております。

以上のように、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに減少する見通しであることから、すでに平成21年1月20日付で業績予想の修正をしております。

また、配当予想に関しましても、修正をすることとしました。詳細は、本日別途公表した「平成21年3月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期累計期間末の貸倒実績率等が前累計期間末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前累計期間末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産に関する会計基準」（企業会計基準第9号）を第1四半期会計期間から適用し、評価基準については、主として総平均法による原価法から、主として総平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。この変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	290	165
受取手形及び売掛金	3,100	3,268
製品	633	496
原材料	343	372
仕掛品	120	136
その他	248	336
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	4,734	4,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	976	1,001
機械装置及び運搬具（純額）	1,082	1,198
土地	1,575	1,504
建設仮勘定	72	41
その他（純額）	61	64
有形固定資産合計	3,769	3,809
無形固定資産		
のれん	28	—
その他	2	1
無形固定資産合計	30	1
投資その他の資産		
投資有価証券	51	58
関係会社株式	25	25
関係会社出資金	55	55
その他	29	171
貸倒引当金	△2	△4
投資その他の資産合計	158	306
固定資産合計	3,958	4,117
資産合計	8,693	8,891
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,074	3,087
短期借入金	1,610	1,340
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	8	50
賞与引当金	64	145
その他	431	310
流動負債合計	5,688	5,434
固定負債		
退職給付引当金	289	316
役員退職慰労引当金	57	53
固定負債合計	346	369
負債合計	6,035	5,804

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,920	1,920
資本剰余金	0	0
利益剰余金	741	1,167
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,659	3,085
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1	2
評価・換算差額等合計	△1	2
純資産合計	2,658	3,087
負債純資産合計	8,693	8,891

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	10,038
売上原価	9,277
売上総利益	760
販売費及び一般管理費	845
営業損失(△)	△85
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	1
その他	11
営業外収益合計	14
営業外費用	
支払利息	22
その他	20
営業外費用合計	42
経常損失(△)	△113
特別損失	
固定資産売却損	5
固定資産除却損	4
特別損失合計	9
税引前四半期純損失(△)	△123
法人税、住民税及び事業税	2
法人税等調整額	222
法人税等合計	225
四半期純損失(△)	△349

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失(△)	△123
減価償却費	302
固定資産売却損益(△は益)	5
固定資産除却損	4
投資有価証券評価損益(△は益)	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△27
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△80
受取利息及び受取配当金	△2
支払利息	20
売上債権の増減額(△は増加)	167
たな卸資産の増減額(△は増加)	△94
その他の流動資産の増減額(△は増加)	11
仕入債務の増減額(△は減少)	△37
未払費用の増減額(△は減少)	25
その他の流動負債の増減額(△は減少)	45
小計	219
利息及び配当金の受取額	2
利息の支払額	△20
法人税等の支払額	△42
営業活動によるキャッシュ・フロー	158
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△201
固定資産の売却による収入	4
無形固定資産の取得による支出	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△227
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	270
配当金の支払額	△76
自己株式の純増減額(△は増加)	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	193
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124
現金及び現金同等物の期首残高	145
現金及び現金同等物の四半期末残高	270

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 事業部門別売上高

事業部門		前年同四半期累計期間 (平成20年3月期 第3四半期累計期間) (百万円)	当四半期累計期間 (平成21年3月期 第3四半期累計期間) (百万円)	増減 (百万円)	伸び率(%)
ゴ ム 事 業	コンパウンド	3,469	2,256	△1,213	△35.0
	シート・マット	1,445	1,421	△23	△1.6
	成形品・他	1,831	1,825	△5	△0.3
	計	6,746	5,503	△1,242	△18.4
樹 脂 事 業	塩ビコンパウンド	1,785	1,777	△7	△0.4
	高機能樹脂コンパウンド	1,988	2,057	67	3.5
	再生ナイロン他	700	699	△0	△0.1
	計	4,474	4,534	60	1.4
合計		11,220	10,038	△1,182	△10.5

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額
I 売上高	11,220
II 売上原価	10,181
売上総利益	1,039
III 販売費及び一般管理費	848
営業利益	190
IV 営業外収益・費用	△25
受取利息及び受取配当金	0
支払利息	△24
その他	△1
経常利益	165
V 特別損失	5
ゴルフ会員権評価損	—
固定資産除却損	5
税引前四半期(当期)純利益	159
税金費用	75
四半期(当期)純利益	84

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前純利益	159
減価償却費	284
固定資産廃棄損	5
退職給付引当金増減額(減少:△)	△21
役員退職慰労引当金増減額(減少:△)	△6
貸倒引当金の増減額(減少:△)	3
賞与引当金の増減額(減少:△)	△58
受取利息及び受取配当金	△1
支払利息	9
売上債権の増減額(増加:△)	17
棚卸資産増減額(増加:△)	△94
その他流動資産増減額(増加:△)	△9
仕入債務の増減額(減少:△)	220
未払費用の増減額(減少:△)	0
その他流動負債増減額(減少:△)	34
小計	545
利息及び配当金の受取額	1
利息の支払額	△7
法人税等の支払額	△98
営業活動によるキャッシュ・フロー	440
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	△242
固定資産の売却による収入	2
投資有価証券の取得による収入	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△268
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△115
短期借入金の純増減額(減少:△)	130
自己株式の純増減額(増加:△)	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	14
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	186
V 現金及び現金同等物の期首残高	315
VI 現金及び現金同等物の期末残高	502